

# 山口市男女共同参画センター

## だより

令和4年11月号

発行:山口市男女共同参画センター  
編集:山口市男女共同参画ネットワーク広報委員会  
〒753-0074 山口市中央二丁目5番1号(山口市民会館事務所2階)  
TEL/FAX 083-934-2841 <http://www.y-djc.com/> [✉mw3kaku@c-able.ne.jp](mailto:mw3kaku@c-able.ne.jp)

### SDGsとは

2030年までに、世界が取り組むべき17の持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) であり、キーワードは「誰ひとり取り残さない」です。

2015年9月国連サミットにおいて、全会一致で採択されました。

17のゴールと共に、169の具体的なターゲットがあります。先進国も発展途上国も、取り組むユニバーサル (普遍的) なものですが、私たちが身近な活動からできることがたくさんあります。

一般社団法人SDGsてらすウェブサイト (<https://www.sdgsterasu.com/>) より

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



**1** 貧困をなくそう  
あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ。



**2** 飢餓をゼロに  
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、持続可能な農業を促進する。



**3** すべての人に健康と福祉を  
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。



**4** 質の高い教育をみんなに  
すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。



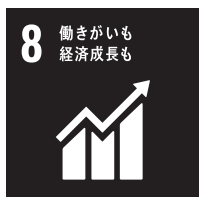
**5** ジェンダー平等を実現しよう  
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る。



**6** 安全な水とトイレを世界中に  
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。



**7** エネルギーをみんなにそしてクリーンに  
すべての人々の安全で信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。



**8** 働きがいも経済成長も  
すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワークを推進する。



**9** 産業と技術革新の基盤をつくろう  
レジリエントなインフラ構築、包摂的で持続可能な産業化の促進、イノベーションの推進を図る。



**10** 人や国の不平等をなくそう  
国内および国家間の不平等を是正する。



**11** 住み続けられるまちづくりを  
包摂的で安全、レジリエントで持続可能な都市と人間居住を実現する。



**12** つくる責任 つかう責任  
持続可能な消費と生産のパターンを確保する。



**13** 気候変動に具体的な対策を  
気候変動とその影響を軽減するための緊急対策を講じる。



**14** 海の豊かさを守ろう  
海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。



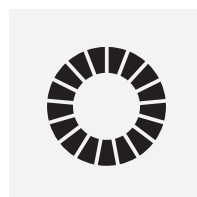
**15** 陸の豊かさを守ろう  
陸域生態系の保護・回復、持続可能な森林経営、砂漠化への対処、土地の劣化の阻止・回復、生物多様性の損失を阻止する。



**16** 平和と公正をすべての人に  
公正、平和かつ包摂的な社会を推進する。



**17** パートナリシップで目標を達成しよう  
持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化する。



**18** 地方自治体と関係機関の連携を強化しよう  
地方自治体と関係機関の連携を強化し、持続可能な開発を推進する。

## 「SDGs ってなあに？ ～学びからアクションへ！～」(全3回)

最近よく見聞きするSDGsをご存じでしょうか。「誰ひとり残さない」を合言葉に、国連が採択した17の持続可能な開発目標が“SDGs”です。2030年までにすべての人のために貧困を終わらせ、地球を守り、繁栄を確保するには私たちも無関心ではられません。

私たちの身近な課題をSDGsに照らして考え、実際に行動し解決につなげていくために、久保田后子氏を講師に3回シリーズで講座を開催しました。久保田氏は2009年から2020年まで宇部市長を務められ、退任後に一般社団法人SDGsてらすを設立、持続可能な社会を目指して「市民活動とSDGs」を結ぶソーシャルプロジェクトを始動されています。



### 第1回 SDGs ってなあに？

8月6日(土) 於：カリエンテ山口

#### ◆SDGsの誕生

自然災害の増加に加えて貧困、戦争、感染症、資源の枯渇など、なかでも地球環境は深刻な課題を抱えています。CO2排出量増加による地球温暖化、異常気象や自然災害の増加や森林の砂漠化と水不足等、このままでは人類の生存が危うい世界的危機が迫っています。

#### ◆日本の現状

新型コロナウイルス感染症が全ての分野に影響を及ぼし、SDGsの達成目標がさらに遠のきました。

#### ◆日本の課題

重要な課題として②「飢餓をゼロに」⑦「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」⑩「人や国の不平等をなくそう」があります。そして深刻な課題として⑤「ジェンダー平等を実現しよう」⑫「つくる責任 つかう責任」が挙がっています。また、取り組み不十分な目標として⑬「気候変動に具体的な対策を」⑭「海の豊かさを守ろう」⑮「陸の豊かさを守ろう」⑰「パートナーシップで目標を達成しよう」等、課題は山積しています。

人間の安全保障の要素「命」「生活」「尊厳」で可

視化すると、「貧困」「格差」「孤立」「差別」によって取り残される人たちが見えてきます。どこで誰が取り残されているかということ、子どもと女性です。

#### ◆ジェンダー平等

日本のジェンダーギャップ指数低迷の解消には132年かかると言われています。世界各国はジェンダー平等を進めていますが、日本は足踏み状態です。その要因として日本では政治、経済分野に女性のリーダーシップが見えません。片方の性だけで決定される社会には見落としや議論が深まらないといった問題はないのでしょうか。

コロナ禍では、多くの女性の非正規労働者に大きなしわ寄せがあり女性の貧困が助長され、また女性の自殺者も増加しました。

#### ◆SDGsは「わたくしごと」

SDGsの目標達成は国家の責任ではありますが、人々が大きな変化を起こすために「わたくしごと」として行動しなければなりません。世界の少数派である先進国に生きる日本人は「もったいない」を知っています。目標⑫「つくる責任 つかう責任」は身近に実践できる目標ではないのでしょうか。

### 第2回 身近な課題から考えるSDGs

9月3日(土) 於：カリエンテ山口

この回では、初めにSDGs視点から私たちの身近な課題を考える手がかりとしてジェンダー平等、貧困/格差社会、食品ロス、サステイナブルファッションの4つについて現状と問題点の解説がありました。中でも食品ロスでは、日本は食料の大半を輸入に頼りながらまだ食べられる食品を捨てていることが指摘され、こうした食品ロスに対する市民レベルの取り組みとして、フードドライブ、フードレスキュー、北九州市魚町銀天街の“SDGs×商店街”等の紹介

がありました。

また、サステイナブルファッションではSDGs⑫「つくる責任 つかう責任」をソーシャルビジネスとして実現した(一社)SDGsてらすの「あみそんじプロジェクト」が取り上げられました。宇部市のニットメーカーと共同で、廃棄される「編み損じ」繊維品をアップサイクル(創造的利用)するシステムを確立、商品化し(当日はゲストスピーカーがモデルとなって着用)、サステイナブルファッションの新たな市場開拓でさらなる廃棄物減量・廃棄コスト削



減を目指しています。

その後、この回でお招きした多彩なゲストスピーカーから、米屋町商店街で行われている子供服交換会、市のリサイクルプラザでの家具や自転車等の再生品販売、コープやまぐちの地域や環境、人に配慮したエシカル消費の取組み“誰かの笑顔につながるお買い物”等の話題提供がありました。消費活動は最終的に損得で決まるのではないかとこの意見に対し

ては、では地球がなくなるまでこの暮らしを続けるのか、廃棄するより循環のしくみを作れば実現は可能であり、重要なのは「情報」と「人がつながること」、それをしくみで支えるのだとの講師の助言に皆がうなずきました。加えて、「誰かがやる」と思わないこと、取組むにあたって「楽しい」につながるおもしろい問いかけがあればとの参加者からの声に明るい展望が見えた思いで第2回を終えました。

### 第3回 SDGs山口アクションのためのワークショップ

#### 於：カリエンテ山口

最終回は、A食品ロス、Bサステナブルファッション、Cその他の3つのグループに分かれて課題の掘り起こしや実際のアクションにつながる課題解決の方法について、各々が自分ごととして考えました。

#### ◆食品ロス

子供が一人で生活する術を身に付けるには栄養も考えながら食事をつくることを学ぶことです。理想を「健康」ということにおき、食生活を見つめ直し食文化を受け継いでいくのです。昔から様々な知恵とともに受け継がれている「おすそわけ」文化など、楽しく食するということが大事です。

食品ロスとどう向き合うかは、消費者と生産者とのコミュニケーションが必要で、「食についてのコミュニケーションの場づくり」として、食に関心のある人を募り輪を広げていくとよいのではないのでしょうか。

#### ◆ファッション

子供服については現在既に学校単位、子育てサークル等でリサイクルが実践されており、宇部市では行政主催のリサイクルフェアが市民に定着し好評であるとのことでした。ただし大人の服となるとファッションは実用本位だけでなく自己表現ともつながる部分があり、サイズも趣味も多種多様なだけにリサイクルが成立するののかという思いもありながら、参

加者からはユーズドの服のポストの設置や、不要な服を回収する店の利用、市のリサイクルプラザや“まちのえき”の更なるPRと利用促進等の提案が出されました。リサイクルの実現には、情報（不要なもの、欲しいもの）と場所（アクセスのしやすさも重要）、それを集約するしくみが重要だと感じました。

それとともに98%の衣服を輸入し95%を焼却・埋立処分している日本において、誰もがもつ「服は買う方が安い」という意識を変えていく必要をも痛感しました。

#### ◆女性の貧困

わが国では3組に1組が離婚しておりシングルマザー・シングルファーザーが増加しています。シングルマザーや高齢女性の貧困には、セーフティネットの整備が必要です。現在正規で働いている若い人は結婚・出産で離職せず継続就労を心がけることが将来につながります。労働については同一価値労働同一賃金が理想となります。

問題解決のカギは庶民の生活を理解できる政治家の出現と有権者が問題意識をもって投票に行くことで、それがまちづくりに反映されるのです。

「傍観してはいけない」を軸に、学生を対象に問題課題に向き合う話し合いの場を設け、議論を行い理解を深めることが大事です。



## これからのセンター講座の予定

### 見え<sup>ひとごと</sup>ないDV 他人<sup>ひとごと</sup>事にしないために

コロナ禍で、ドメスティック・バイオレンス（DV）の増加が深刻化しています。DV が起こる背景にはどんな構造的な原因があるのでしょうか。またDV を他人事（ひとごと）とせず、暴力を許さない社会を皆でつくっていくためには、私たちに何ができるのでしょうか。一緒に考えてみましょう。

なお、この講座はリモートで行います。ライブ配信もありますので、関心のある方は是非ご参加ください。

**日時** 12月10日（土）13:30～15:30  
**講師** お茶の水女子大学名誉教授 戒能 民江氏  
**会場** 山口市男女共同参画センター  
オンライン配信あり

**定員** 会場参加 20名（講師は来場しません）  
オンライン配信 10名

**参加費** 無料

**託児** 無料

（12/2までに要予約。6カ月以上の未就学児5名）  
※手話、要約筆記ほか合理的配慮の必要な方は下記  
参画センターへご連絡ください

#### 【戒能民江氏プロフィール】

専門はジェンダー法学・女性に対する暴力研究。  
お茶の水女子大学生活科学部長、理事などを歴任。

お名前、住所、電話番号、会場視聴  
もしくはオンライン配信のどちらかを  
明記し、電話、FAX、メール、HPの  
申込フォームのいずれかでお申込み下  
さい。



### 映画「ディリリとパリの時間旅行」

ベルエポック時代のパリにやってきた女の子ディリリの冒険を描く美しいアニメーション映画です。

**日時** 1月7日（土）13:30～15:30

**場所** ニューメディアプラザ山口

**対象** 4歳以上の子どもと保護者、関心のある方 計60名  
（応募多数なら抽選）

**託児** 5名

**申込め切** 12/16（金）



#### 【全ての申込・問い合わせ先】

山口市男女共同参画センター

ゆめぼばら

山口市中央2丁目5-1

Tel&Fax(083)934-2841

E-mail mw3kaku@cabl.ne.jp

URL <https://www.ydjc.com/>



### おんなの目 おとこの目

世界経済フォーラムが発表した2021年版の「旅行・観光開発ランキング」で、日本は総合評価で初の世界1位に輝いた。

このランキングには「環境整備」「旅行・観光政策と実現条

件」「インフラ」「旅行・観光の需要喚起」「旅行と観光の持続性」の5つのカテゴリーがあり、カテゴリー別に見ると、日本は「インフラ」と「旅行・観光の需要喚起」部門で3位というところで、突出した部分は無く、全体的に満遍なく得点を稼いでいることがわかる。

世界経済フォーラムと言えば

ジェンダーギャップ指数のランキングを出しているのもこの団体で、日本はいつも下の方の順位となっている。それが本当にジェンダーギャップの実態を表しているかどうかは一概に言うことはできないが、こういったランキングの内容を詳細に吟味し、施策等に反映していく姿勢が重要であろう。